Little star EC シリーズ UPS による複数 PC 管理

― PMD ユーティリティーの使用方法 ―

この資料は Little star EC シリーズ UPS で複数の PC（WindowsNT／2000／2003／XP／98／95）を電源管理する為の手順・設定に関するものです。

【概要】

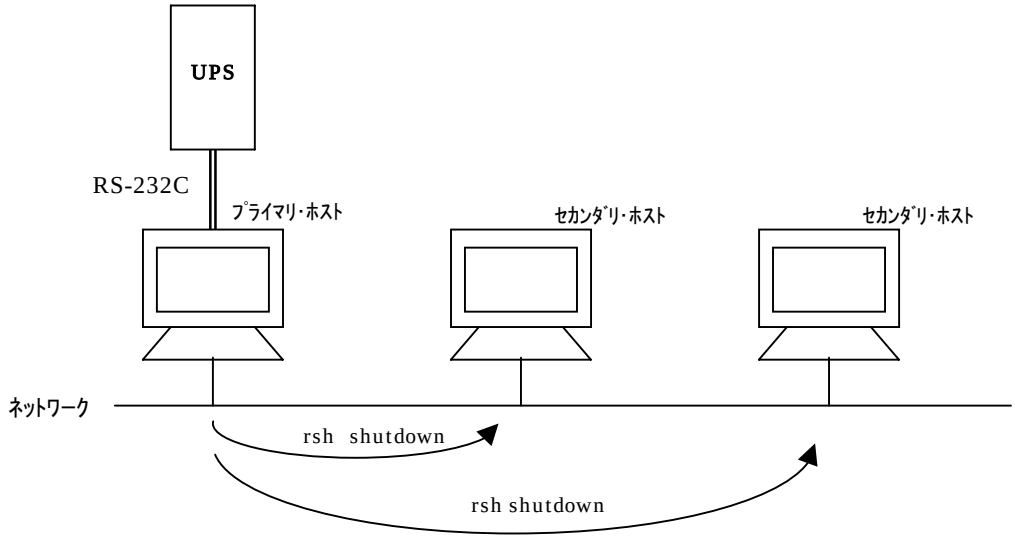
1 台のマシンをプライマリとしてUPSとシリアル接続し、**ECパワーモニタ**又は**EC7020 ユーティリティー**[1]をインストールします。これらのソフトウェアによるシャットダウン処理中に他のPC（セカンダリ・ホスト）に対して、リモートシェルを用いてシャットダウンを実行させます。

セカンダリ・ホスト側ではシャットダウン要求を受付けるプライマリ・ホストを指定しますので、不用意に他のサーバからシャットダウンされるような事はありません。

通常リモートシェルは WindowsNT／2000／2003／XP で送信はできますが、受信ができません。

また Windows98／95 ではサポートされていません。そこで PC に ***PMD ユーティリティー*** のリモートシェル・デーモンをインストールします。これにより、プライマリ・ホストからセカンダリ・ホストへリモートシェルでの通信が可能になります。

プライマリ・ホストはリモートシェルの送信のみを使いますので、WindowsNT／2000／2003／XP の場合　PMD ユーティリティーは不要です。セカンダリ・ホストは受信する方なので全てにインストール必要があります。 尚、UNIX マシンに関しては標準でリモートシェル送受信が可能な為、PMD ユーティリティーは不要です。



[1] ECパワーモニタはWindows用、EC7020 ユーティリティーはUNIX用のUPS管理ソフトウェアです。

【必要なもの】

1. UPS1台に付き **EC パワーモニタ** 又は **EC7020 ユーティリティー** 1 個
2. PC の台数分の **PMD ユーティリティー** 但しプライマリ・ホストが WindowsNT／2000／2003／XP の場合はプライマリ・ホストの分は不要、UNIX には不要

プライマリ	UNIX	UNIX	NT/2000/2003/XP	NT/2000/2003/XP	98/95	98/95
必要ソフトウェア	EC7020	EC7020	ECPM	ECPM	ECPM PMD Utility	ECPM PMD Utility
セカンダリ	UNIX	NT/2000/2003/XP/98/95	UNIX	NT/2000/2003/XP/98/95	UNIX	NT/2000/2003/XP/98/95
必要ソフトウェア	なし	PMD Utility	なし	PMD Utility	なし	PMD Utility

[2]

※ UNIX をセカンダリに設定する場合、ソフトウェアは不要ですが、rsh サービスを有効にする設定が必要です。すなわち、 ./rhosts 及び /etc/hosts ファイルへプライマリ・ホストを登録する等の処理が必要になります。

※ PC 上で PMD ユーティリティーと同じポート（514）を使用するアプリケーション（MS-RSHD、JP1/Cm2 RSHD など）が稼動している場合はインストールできません。稼動中のアプリケーションを停止させるか、そのアプリケーションを利用して OS のシャットダウンを行って下さい。

【プライマリ・ホストの設定】

Ⅰ. PMD ユーティリティーのインストール（UNIX, WindowsNT／2000／2003／XP の場合は不要）

1. **setup.exe** を実行
2. スタート→プログラム・メニューから「ISA PMD コンソール」を起動
3. 「セカンダリ・ホストとしてインストールしますか？」 → はい
4. 「プラマリ・ホストの IP アドレス入力」でプライマリ・ホスト（自分）の IP を入力
5. 「プライマリ・ホストに再度エントリしますか？」 → いいえ
6. 「ホストマシンの IP アドレス入力」で再びプライマリ・ホスト（自分）の IP を入力
7. 「ブート・サービスをインストールしますか？」 → はい
8. 「リモート・シェルデーモンをインストールしますか？」 → はい
9. 再起動

[2] ECPM＝ECパワーモニタ　EC7020＝EC7020 ユーティリティー

Ⅱ－１ EC パワーモニタのインストール及び編集 （Windows の場合）

1. EC パワーモニタを取扱説明書に従ってインストール
2. EC パワーモニタの編集

c:¥ecpm¥shutasw.bat を編集（エクスプローラより右クリックで編集）

リモートシェルにてセカンダリ・ホストへシャットダウンコマンドを発行させる記述を追加します。

セカンダリ・ホストの OS によって記述が変わりますので、以下の例を参考にして下さい。

例） プライマリ・ホストが WindowsNT/2000/2003/XP の場合

```
rem ----------------User Defined Area BEGIN---------------------
rsh IP_address shutasw  < nul                          ← 追加 (Windowsの場合)[3]
sleep 3                                                ← 追加
rsh IP_address  "/etc/shutdown -y -g0 -i0" < nul       ← 追加 （Solarisの場合）[3]
sleep 3                                                ← 追加
rem..... Please write user's   program
rem.....
rem ----------------User Defined Area END-----------------------
```

例） プライマリ・ホストが Windows98/95 の場合

```
rem ----------------User Defined Area BEGIN---------------------
c:¥as7030¥pmdasw -rs IP_address shutasw                 ← 追加 （Windowsの場合）[3]
sleep 3                                                ← 追加
c:¥as7030¥pmdasw -rs IP_address "/etc/shutdown -y -h now"  ← 追加 （HP-UXの場合）[3]
sleep 3                                                ← 追加
rem..... Please write user's   program
rem.....
rem ----------------User Defined Area END-----------------------
```

※ *IP_address* には セカンダリ・ホストの IP アドレスをインプットしてください。

例） 210.222.250.1

※ セカンダリ・ホストの台数分繰り返してください。

[3] セカンダリ・ホストのOSを指しています。

Ⅱ－2 EC7020 ユーティリティーのインストール及び編集 （UNIX の場合）

1. EC7020 ユーティリティーを取扱説明書に従ってインストール

2. EC7020 ユーティリティーの編集

/EC7020/shutdownasw を編集 （取扱説明書 5.3 章 shutdownasw を参照して下さい。）

リモートシェルにてセカンダリ・ホストへシャットダウンコマンドを発行させる記述を追加します。

OS によって記述が変わりますので、以下の例を参考にして下さい。

```
# User define function area
#                                   IMPORTANT
# Users have to take care when inserting code in this area. Make sure that
# it does not conflict with the proper operation of this script.
#
    rsh    IP_address "/etc/shutdown -y -g0 -i0" &      ←追加 （SolarisからSolarisの場合）[4]
     sleep 100                                          ←追加
    rsh    IP_address shutasw                           ←追加 （SolarisからWindowsの場合）[4]
     sleep 100                                          ←追加
# End of user define function area
```

※ *IP_address* には セカンダリ・ホストの IP アドレスをインプットしてください。

例） 210.222.250.1

※ セカンダリ・ホストの台数分繰り返してください。

※ リモートシェル・コマンドは OS により異なります。 例） Solaris： rsh　　HP-UX： remsh

【セカンダリ・ホストの設定】

Ⅰ. PMD ユーティリティーのインストール （UNIX は不要）

1. **setup.exe** を実行
2. スタート→プログラム・メニューから「ISA PMD コンソール」を起動
3. 「セカンダリ・ホストとしてインストールしますか？」 → はい
4. 「プラマリ・ホストの IP アドレス入力」でプライマリ・ホストの IP を入力
5. 「プライマリ・ホストに再度エントリしますか？」 → いいえ
6. 「ホストマシンの IP アドレス入力」でセカンダリ・ホスト（自分）の IP を入力
7. 「ブート・サービスをインストールしますか？」 → はい
8. 「リモート・シェルデーモンをインストールしますか？」 → はい
9. 再起動

[4] プライマリ・ホストからセカンダリ・ホストという意味です。

【リモートシェル確認方法】

プライマリ・ホスト（Windows の場合 DOS プロンプト）より以下のコマンドを実行し、「8888」と返答があれば正常です。

rsh *IP_address* UTID

※ *IP_address* には セカンダリ・ホストの IP アドレスをインプットしてください。

以上で設定は終了です。

尚、本構成は PC に固定 IP を持たせる環境でのみ動作可能です。（DHCP 採用の場合は不可）

株式会社アイエスエイ　カスタマーサポート部
〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-24-16 新宿 6 丁目ビル
TEL：03-3208-1243　　FAX：03-3208-1335
E-maill：info@isa-j.co.jp　Homepage：http://www.isa-j.co.jp
電話対応時間 9：30 ～17：45